

NO	基本目標	質問項目	意見・要望等
1	全体	「第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略2024年度評価報告書(案)」について	本県の人口も減少局面に入り、合計特殊出生率は低下の一途をたどっている。本県の活力を維持していくためには、出生率を向上させ、人口減少に歯止めをかけるための取組が不可欠となる。そして、本県の合計特殊出生率の状況も踏まえて、基本目標3の「順調に進んでいます」との評価を見直すべきという意見を、神奈川県地方創生推進会議にもお伝えいただき、今後、改めて議論していただきたい。本県特有の問題や課題もあることから、有識者をはじめ様々な意見やアイデアをいただきながら、県民の結婚・出産・子育ての希望がかなえられるよう、出生率向上の取組をより一層進めていただくことを要望する。
2	基本目標2	本県の社会増対策について	人口減少が進む本県では、自然増の対策だけではなく、社会増に向けた対策を講じていくことが今後も重要となる。社会増に向けた対策を進めるにあたっては、東京都への人口移動の状況等も踏まえながら、各取組を進めていただきたい。また、社会増を達成するためには、神奈川県からの転出者を減少させることも重要である。来年度から教育無償化が全国的に拡充されるが、私の地元の川崎市では、例えば高校生のお子さんが東京都に通われている方で、東京都に転出しようという方は結構多いと思う。そういったことも踏まえて、県民の方々に種々の政策を理解していただくことも本当に重要だと思っている。転出による社会減が生じないよう、施策の周知、PRの重要性を認識していただいて、県民に伝わるように広報の方も行っていただきたい。
3	基本目標2	三浦半島魅力最大化プロジェクトの推進について	各種施策を進めて、観光の魅力を高めていくことを確認できた。三浦半島地域では、この他にも、ふるさとワーキングホリデーや副業・兼業人材活用事業、移住コンシェルジュ事業など、様々な「半島で暮らす魅力を高める」取組を進めていると思うが、こうした取組を民間と一体的になって総合的に展開して、三浦半島地域に多くの人を呼び込み、プロジェクトの目標値である社会増減数プラスマイナスゼロを達成できるよう、着実に取組を進めるよう要望する。
4	基本目標2	かながわシープロジェクトの推進について	まだまだ知られていない神奈川の海の魅力がたくさんあると思う。海上交通の新規航路を拡大していくうえではしっかりと関係者の理解を得ていただいて、また、ウェブサイトやSNSを活用して、神奈川の海の魅力の国内外への発信を継続するとともに、新規航路の拡大については、関係者の意見にしっかりと耳を傾けながら進めていただくよう要望する。
5	基本目標2	本県への移住の促進について	移住促進の取組を進めるにあたっては、県は広域自治体として、市町村の取組をしっかりと後押しするとともに、国や市町村、県民、企業、団体など、あらゆるステークホルダーとの連携をしながら、着実に進めていただきたい。
6	基本目標3	子ども・若者の居場所や見守り拠点の整備について	困難を抱える子どもたちを支援するとともに、すべての子どもたちの未来を応援する取組につながるよう、子ども食堂を始めたいという人や支援したいという団体や企業にも、子ども食堂の実情を知っていただき、居場所のひとつとして、社会全体で、子ども食堂を支援する輪が広がっていくような取組をしていただくよう要望する。そして、子どもの居場所の必要性が高まっており、校内カフェのような取組が広がっていくよう学校や地域に働きかけを行って欲しい。また、今年度始まった校内居場所カフェについては、効果検証についても今後しっかりと取り組んでいただきたい。
7	基本目標4	県立文化施設や県立社会教育施設の機能充実について	人生100歳時代の本格的な到来が予想される中、誰もが文化芸術に親しみ、生きがいを持ってくらすことができ、将来に希望の持てる社会が求められている。こうした社会の実現のためには、県民の文化芸術活動や学びの拠点である県立文化施設や県立社会教育施設が、ハード面だけでなくソフト面の取組にも一層力を入れていくことが重要である。今後も機能充実にしっかりと取り組んでもらうことを要望する。
8	基本目標4	障害児・者への理解の浸透に向けた取組について	障がい児・者への理解は、共生社会の推進に向けて大変重要である。来月開催する「かながわともいきアート展」においても、来場された方が「ともいきアート」作品を通じて、障がい者の才能に触れることで、障がい理解が進む良い機会となることを期待する。ぜひ、目標に掲げた来場者が達成できるようにしっかりと工夫をして取り組んでいただきたい。また、「神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例～ともに生きる社会を目指して～に基づく基本計画」の評価に当たっても、当事者の声をしっかりと反映していただきたい。

NO	基本目標	質問項目	意見・要望等
9	基本目標4	医療通訳派遣システムについて	今後も人手不足などで、外国人の力が必要となる中、本県は「選ばれる神奈川」にならなくてはならない。そうした中、安心して医療を受けられる環境を整備することは、外国人が住む場所を選ぶ際、重要な要素となるのではないかと思う。引き続き、この医療通訳派遣システムの充実を図るとともに、ITの力も使って、専門的な回答ができなかったとしても、コミュニケーションをとるということに関しては、何もできないよりは非常に発展的だと思うので、そういったところにもしっかりと注力していただきたい。
10	基本目標4	脱炭素社会の実現の県庁による率先した取組	2050年の脱炭素社会の実現に向け、企業や県民の取組を促すためにも、県庁自身が率先して実行することが必要であり、目標達成に向け、しっかりと取組を前進していただくことを要望する。
11	全体	地方創生の推進について	・KPIの設定について、例えばイベントの開催数やLINEの登録数など、事業実施レベルのKPIが多く、非常に達成しやすい目標だと思う。例えば、会社で売り上げ目標が立てられたときに、ゴールの目標が売り上げ目標だとすると、KPIは新規顧客と商談している数や商談中にどのくらいの金額の見積もりを提出しているのかなどがKPIの指標だろうと思っているが、それとこの総合戦略は少し違う目標になってしまっている。 ・総合戦略の実現に向けて、政策局、自治振興部又は地域政策課でKPIの設定に関して権限を持ったほうがよいかと思う。
12	全体	地方創生の推進について	県の総合戦略というものは、新かながわグランドデザインの実施計画から人口減少社会や超高齢化社会への対応という観点で施策を抽出したものと理解をしています。そのため、両計画には重複感があり、重複したこの計画の策定や評価というのが職員の負担になっていると思う。今後、県の事業の合理化という観点から、総合戦略のあり方についても検討していただきたい。
13	全体	第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略2024年度評価報告書(案)	・まち・ひと・しごと創生総合戦略は誰に向けたものなのかを評価報告書に書いて欲しい。 ・地方創生推進会議からの評価だけでなく、県の評価についても記載すべき。今までの総括があって、だからこういう評価になったということを評価報告書に書くのが筋だろう。 ・地方創生推進会議の委員が誰なのかが分からない。どういう人がいて、どういう経歴の方が評価したものなのかが書いていないのはおかしいと思う。 ・目標の設定について、KGIが出てこないのがおかしい。本来、KGIがあって、そこからツリーのようになってKPIがある。例えば、目標として「希望出生率の実現」というゴールがあるならば、KGIはもっと多様なものがあるはずなのにそれが書いていない。なぜKPIが1つ2つしか書かれていないのか。KGIを定めて、その中にKPIがあるということをしっかりと示して欲しい。